

「転覆解明に署名を」

豊橋駅前

ボート事故 遺族が呼びかけ

浜松市の浜名湖で6月、野外教育活動中のボートが転覆し、愛知県豊橋市章南中1年の西野花菜さん(当時12)が亡くなった事故で、花菜さんの父親の友章さんら10人は7日、豊橋駅前で、豊橋市に対し事故の真相究明を求める署名活動をした。

署名は市による事故の説明責任が果たされていらないとして、原因調査と再発を防ぐための安全対策を求める内容。友章さんらが署名を呼び掛けると中高生から高齢者まで多くの市民が応じた。同県豊川市のパート社員的女性は「荒天候にボートを出した学校の判断はどうだったのか。幼い子を持つ親として疑問に思う」と話した。

1時間に集まった署名は400人分。今後もしも続け、集まった署名は今月末に市議会に提出する。友章さんは「多くの市民の皆さんが、事故に高い関心を持っているということを示すことに示したい」と話していた。

【2010年11月8日中日新聞参照】



原因究明求め署名

浜名湖のボート事故

遺族、豊橋市議会提出へ

浜名湖で6月、県立三ヶ日青年の家のボートが転覆した事故で、死亡した豊橋市章南中1年の西野花菜(当時12)の父友章さんが7日、豊橋駅前で事故の原因究明と再発防止を求める署名活動を行った。25日まで署名を集め、29日の市議会に提出する。

花菜さんが通っていた能楽教室関係者ら支援者とともに街頭に立ち、市民に協力を呼びかけた。集まった署名は、1時間で約400人分。制服姿の中学生が署名用紙に記入する姿も目立った。

友章さんは「何カ月もたつが、豊橋市がどのような調査をしているのか報告がない。しっかりとやっているのか、議会にチェックしてほしい」と署名活動の意義を説明。「予想以上の関心の高さで、今後の活動の励みになる」と手ごたえを話した。

静岡県と県教委、指定管理者の小学館集英社プロダクションに対しては「独自の調査を実施して一定の結果を出した」と述べ、署名活動や要望書の提出などは行わない考えを改めて示した。

【2010年11月8日静岡新聞参照】



